

「とにかく驚いた大入満員だ 発作よ、眩暈よ、瞳孔拡散よ、  
貪欲欠乏よ。おれは今夜三科劇を見たのだ」(「読売新聞」1925年6月3日)



「劇場の三科/三科会員展覧会」ポスター 1925年 デザイナー:TOM

「すべての僕が沸騰する 村山知義の宇宙」展関連企画 パフォーマンス・イベント

## 「新・劇場の三科 1925→2012」

2012年3月3日[土] 18:00-20:00(予定) 神奈川県立近代美術館 葉山

巻上公一(音楽家)/やなぎみわ(美術作家)/フォルマント兄弟(作曲・思索ユニット)/酒井幸菜(振付家・ダンサー)

1925年5月30日、新興美術団体「三科」の会員による実験的演劇と舞踏の一夜「劇場の三科」が築地小劇場で開かれました。

その中心人物であり、1920年代から美術・演劇・ダンス・建築・デザイン等の前衛芸術に多彩な才能を発揮した村山知義。

初の回顧展にあたり、その革新的息吹を再興/再考するパフォーマンス・イベント「新・劇場の三科」を開催します。

村山が傾倒したノイエ・タンツ、マヴォ、新興演劇といった当時の先鋭的表現を、現在活躍する諸領域のアーティストが再解釈。

村山知義展の会場を観客と共に移動しながら公演を行い、1925年と2012年の熱狂を分かち合う一夜です。

チケット:3,000円(オールスタンディング、定員100名)

チケット発売:

電話・ネット受付 岩神六平事務所 (Tel:046-876-0712 <http://roppai.jp/>)

店頭販売 葉山館ミュージアムショップにて(10:00-17:00、月曜休業/Tel: 046-877-5630)

・本公演のチケットは、開催中の展覧会「村山知義の宇宙」展の観覧券とは異なります。

助成:公益財団法人野村財団 制作協力:岩神六平事務所



The Museum of  
Modern Art,  
Kamakura &  
Hayama

〒248-0292 神奈川県鎌倉市

